

令和 2 年度 校長通信

立志だより



～笑顔の登校 満足の下校～
与那原町立与那原中学校
発行者 校長 東江功子

研究授業第10号



9月18日(金)に1年3組で鎌田美乃里先生による理科の研究授業がありました。この授業のめあて:「物質 X は何かを特定することができる。」でした。

1年3組は、授業規律がしっかりとできて、はじめから先生の指示にてきぱきと行動する生徒の動きに心を奪われる授業でした。前時の振り返りを行い、本時のめあてを確認して各グループでの「白い粉 X の正体を探る実験」がスタートしました。グループで協力し、水で溶かす、アルコールランプで熱するヨウ素液を垂らすなどの実験を行い、その結果から白い粉 ABC についてそれぞれの特徴を分析し考察していく授業展開でした。



各グループともみんなで協力し、実験道具の準備や片付け、これまで行った方法を基に役割分担しながら、それぞれの実験を行いました。最後のまとめで、2つのグループが発表していましたが、少し異なる答えもあり、次回の授業での解答が楽しみです。

授業を振り返る

【先生方の声より】

- 課題解決のための見通しを持たせた上で実験を行っていた。
 - まとめ、振り返りの時間や実験道具の片付けの時間も確保されており、タイムマネジメントがしっかりとっていた。
 - 実験の条件や考察の仕方を ICT 機器を活用して提示していて、生徒もわかりやすい。
 - お互いでの意見交換や話し合いがきちんとされていた。
- ★大変参考になるいい授業でした。(^^O^^)

研究授業第11号

本日、1校時に2年3組で湊川梓先生による音楽の研究授業がありました。



本時は授業の開始時に、アルトリコーダーで既習した曲「喜びの歌」や「メリーさんのひつじ」など5曲ほどを全員で上手に演奏していました。

日々の授業での定着、授業の流れもスムーズで、アルトリコーダーの片付けでは、梓先生がピアノで運動会のリレーでよく使われる曲「クシコスポスト」を弾きながら短時間で作業させていて、生徒達も時間内に片付けることが出来ていて普段からの取り組みが素晴らしいと感じました。

本時のめあて:「フーガ ト短調」を鑑賞し、音色や旋律について学習しよう。という鑑賞の分野の授業でした。曲を聴いて、どんな楽器が使われているのか?何人で演奏しているのか?ということ各自で考えたあと、小グループで話し合い、それぞれについて発表していく展開の授業でしたが、電子黒板などを活用した指示や提示も大変わかりやすく良かったです。参観した先生方もオルガン?3人くらい?と考えていましたが、答えは、パイプオルガンで、なんと一人で演奏していました。パイプオルガンは、高い音から低い音、様々な音を両手や両足を使って演奏する特徴があるようです。追いかけるように弾く「フーガ」形式をこの授業で学びました。



